現車チェックシート



外装		**ボディだけでなく、ルーフやガラス、ライトやマフラーもチェック**
	ルーフとピラーのキズ、ヘコミ	ルーフは見えにくい場所だが、ドアを開けてフロアに足をかけて、高い位置に立って見ておくこと。
	ライトが点灯するか、ケースは割れていないか	点灯しない場合やケースが割れている場合は、納車までに交換してもらうこと。
	マフラーに損傷や腐食はないか	問題がある場合は、納車までに交換してもらう。 エンジンをかけてみれば、音でわかる（排気音が大きく響く、など）。
	ガラスのキズ、割れ	深いキズなどがあると、走行中に急に割れる可能性があるので、要チェック。
	ボディやバンパーの気になるキズ、ヘコミはないか	車体から斜め45度ぐらいからの角度で見るとよくわかる。わかりにくければ、カーライフアドバイザーに聞いてみるのがいちばん。
タイヤ		**溝はさわって確認、側面、スペアタイヤのチェックも忘れずに**
	溝の深さはあるか	溝が浅すぎると、スリップなどの危険があるから、交換が必要。
	片減りや異常磨耗はないか、4つ均等に減っているか	内側面と外側面から、タイヤを横切るように触ってみる。片側の減り方が多かったり、左右、前後のタイヤの減り方が均一でない場合は、クルマから離れて車体が水平かどうかもチェック。気になる場合は、カーライフアドバイザーに聞いてみること。
	亀裂や損傷はないか	古いタイヤは、側面にヒビが入ってくる。パンクの危険があるので、交換が必要。
	スペアタイヤの状態	スペアタイヤはたいてい、セダン系はトランクのカーペット下に、ワゴン系は後部の車体下にある。 溝やヒビ、磨耗状態をチェック。
	タイヤ交換の費用を聞いておく	心配があれば、必ずカーライフアドバイザーに聞き、交換した方が良い場合は、費用を確認。
エンジンルーム		**クルマの心臓部。カーライフアドバイザーに聞きながら見ていこう**
	ブレーキ液、冷却水、ウィンドウォッシャーの量	それぞれの残量をチェック。少ない場合、納車までに補充してもらえるかどうかも聞いてみる。
	オイルゲージ	ゲージを抜いてみて、エンジンオイルの量などをチェック。
	バッテリー	セルモーターを回してみて、エンジンのかかり具合でチェック。かかりにくければ、バッテリーが弱っている証拠。
	ベルト類やホース類の損傷など	見える部分は、ヒビなどがないかどうか、すべてチェック。
トランク		**ジャッキや工具は必需品。雨漏りはないか**
	工具	ジャッキが装備され、工具は十分にそろっているか確認。
	雨漏り	特にトランク開口部のゴムは、ヒビや割れがあると雨漏りの原因になる。スペアタイヤ格納部の底に水が溜まった跡があったら、要注意。
運転席		**座ったときの、相性は？**
	ステアリング	ステアリングの遊び、センターがあっているかどうかを確認。
	ペダル	ペダルを何度か踏んで、がたつきがないか、感触をチェック。
	ミッション（MT）	ギヤを操作してみて、引っかかりがないことを確認。
	メーター	どんなメーターがついているか、視認性も確認。
電装		**動かせるものは、すべて動かして確認、が鉄則**
	パワーウィンドウ、電動ミラー、室内灯、ロック	すべての動き、点灯を確認。
	エアコン	冷暖房はどちらも効くか、気になるニオイはないかチェック。
	オーディオ・カーナビ	操作性と作動を確認。取扱説明書はあるか。社外品がついている場合は、保証も確認。
	各種スイッチ	どのスイッチが何の機能か聞き、すべて作動をチェック。
座席		**助手席、後部座席も座って、収納やリクライニングも確認しよう**
	ドアの開閉	ドアの開閉に引っかかりがないか、ヒンジは交換していないか。運転席だけでなく、助手席、後部座席も、すべて座ってチェック。
	位置調節とリクライニング	調節できるシートは、可動をチェック。
	収納	コインケースやサンバイザーの裏側のポケット、ドアポケットなども確認。
	汚れ	シミ、タバコ跡、汚れ、ほつれ、破れ、へたりなど、シートだけでなくヘッドレストもチェック。ビニールがかかっていて見にくい場合は、外して良い。
	車内のニオイ・汚れ	ペットやタバコのニオイは、クリーニングでたいてい消えているはず。天井やアームレストは汚れていないか。気になる場合はクリーニングをしてくれるか、聞いてみる。
	灰皿	すべての灰皿が、使用可能かどうか（蓋の開閉など）確認。
	コンソールやダッシュボード	浮き、割れはないかチェック。

メモ	